

DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす



森田税務会計事務所(川越地区会)

森田 正樹

MORITA MASAKI

会計人の仕事はお客様にとって大切な財務を見る事になるので、お客様に信用されるように自らの襟を正し、利他の精神をもつことがとても大切である。そうする事で、お客様との長期にわたる仕事が出来ようになる。お客様から、「家族のように信頼されて何でも相談できる会計事務所」を目指している森田氏のお話を伺いました。

(P7へ続く)

埼玉の元気を創る中小企業家 - 116

【経営理念】

1 自利利他の実践

私たちは、安心と信頼、親切丁寧な会計人として、お客様のご希望を正確に把握し、自利利他の実践による真心の支援で、お客様の永続的発展に貢献します。

2 共に育つ

私たちは、会計人の使命を共有し、共に、明るく、前向きに知識の吸収と人間的な成長を目指します。

3 地域貢献

私たちは、地域に根ざし、地域に愛される提案型の会計事務所を目指します。

2021 - 2 February

VOL.514 毎月1日発行

特集

桶高クエストで「共に育つ」を実践

問題を自ら見つけ、解決策を探る学習を高校生と
~共同求人委員会~

<http://www.saitama.doyu.jp>

社長の
学校

桶高クエストで『共に育つ』を実践

問題を自ら見つけ、解決策を探る学習を高校生と～共同求人委員会～



県立桶川高校のカリキュラム、桶高クエストに埼玉同友会共同求人委員会が昨年度より参画し、一緒に課題解決型授業に取り組んでいます。(今年度参加企業はP4に掲載)。12月までに、各クラスでのテーマの探求と発表が終了し、3学期の各クラス代表による発表を残すばかりになりました。この取り組みについての実践レポートを学校サイドにもご協力いただき、報告します。

課題解決型授業の可能性に触れて

共同求人委員会 共育部会長
東京プレイズ(株) 代表取締役

松 康太郎(むさし野地区会)



桶高クエストは、埼玉同友会が一昨年より桶川高校の総合学習計画の課題解決型学習PBL(Project Based Learning)授業への支援と言う形で参画させて頂きました。この授業では、生徒が受動的な学習ではなく、自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とする授業で、同友会経営者はその問題の提起と、助言者として学習者のサポートをする立場で学習を進めてきました。

昨年度は初年度で高校側も同友会側もお互いに手探りの中進めて行きましたが、最終の全体発表会では生徒さんたちが素晴らしい発表を行い、我々も驚くような若い人達の可能性を垣間見ることが出来ました。今年度は、コロナの影響で通常開催ができませんでしたが、それでも何とか開催にこぎつけました。基本的にZoomでの開催でしたが、多くの経営者が実際に高校に訪れ、学生さんたちと授業を進めました。この授業を通して、自ら問題を発見し解決するというこの大切さと、それを伝える難しさや楽しさを、同友会経営者が改めて学ぶことが出来ました。この経験は会社経営に必ず役立つことと思います。

地域に根差す同友会

共同求人委員会 委員長
山本工機(株) 代表取締役

山本成年(東彩地区会)



中部地区の多数の会員企業また、各地区の会員企業にご協力頂き有難うございました。この活動は、働く意義と中小企業の魅力を広めて行き、将来的には地元の中小企業に就職してもらう為の活動でもあります。今後は、各地区で高校の支援授業を行い、高校生達に中小企業の魅力を発信して行きたいと思っています。

次年度もこの活動は継続されます。会員企業の皆様、よろしくお願ひします。



生徒たちの成長ぶりに目を見張る場面も

『ネオ・デジタルネイティブの生徒たちとワーケーション施設を考える』

(株)ディクタクス代表取締役 齊藤壽和(東彩地区会)



ダイヤの原石たちへの探求授業。私のクラス1年4組のテーマは、「ワーケーション施設をつくろう」。ワーケーションとは、WorkとVacationを組み合わせた造語で、働きながら休暇をとる過ごし方。コロナ禍において、企業のIT化、リモートワーク化が進み、場所にとらわれない働き方が浸透してきました。現在高校1年生の生徒たちにとっては、早くも2年半後、遅くとも7年後には働く事になるが、その時代には、この流れはもっと広まっているはずです。

- ・どの地域につくるか?
- ・その地域の特色は?
- ・その地域に今ある地場の仕事は?
- ・他の仕事はできないか?
- ・どのような施設をつくるか?

そして、自分たちで作った施設をPRしよう! という課題を出しました。地域情報を丁寧に細かいところまで調べる生徒、施設を寸法まで記入し図面を作った生徒、得意のイラストで思いをビジュアル化した生徒、堂々と良い声で発表した生徒、面白いアイデアを出した生徒、リーダーシップを発揮しグループをワクワクさせた生徒がいました。

そんな生徒達がひとつのチームになり、近未来に必ず起きることや、社会問題解決案が次々と生まれました。自然災害と子どもたちの遊びを共存させるアイデア、ニート問題解決アイデア、魚の養殖についてのあらたなビジネスモデル的アイデア、ドローンを使った事業アイデア、アニメとのコラボレーションPR案、伝統の「なまはげ」のPR案、海底カフェ解説案。千葉県唯一の村の村おこしとも言える壮大な企画は、広告代理店や行政の観光課などが考えるレベル案。

生徒たちは課題に対しての調査から発表までの資料づくりを、すべてスマートフォンのみで行いました。Google検索し情報取得。ドキュメント、スライドを、共同同時作業で制作。

ネオ・デジタルネイティブの情報処理能力と考え方に、期待しかありません!

『建築で地元桶川を明るくする』

晴建築工房(株) 代表取締役 中山晴喜(中部地区会)



今回担当企業の中、唯一地元、と言う事もあり、当社の業務である『建築で桶川を明るくする』をテーマに生徒たちに探求をしてもらいました。単純で、しかし難しいテーマです。私は、実は2年目で、昨年と同じテーマです。今年はコロナ渦でもあり、課題解決案の捻出は、高校生には相当な難題だと思いましたが、色々なアイデア、意見、私への難しい?質問などを沢山出してくれました。全体発表は、まだ先ですが、クラス内での代表班決定のための発表でも、地元キャラクター「オケちゃん」の妹キャラ「オケ美ちゃん」を考えだし、そのキャラクター達をガードレールに描くアイデアや、暗い道路や公園に、人気スポットになるようなオリジナルの明るい街路灯を設置するアイデア、さらに正に私の仕事に直結している「空き家対策」として、子供と老人が共に過ごす施設や託児所兼用カフェの提案など、専門家が実際に検討しているようなアイデアなど、なかなか面白い内容が出てきました。ただ、最終発表には更なる探求が必要です。しかし、その答えのない難題に挑戦し、解決案をまとめる事が、桶高クエストであり、それが生徒達の探求心を養っていく事につながって行くのだと思います。果たして最終発表で、私の担当生徒達はここまで頑張ってくれるのか、ドキドキであります。

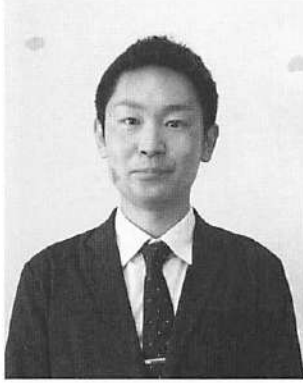
この生徒の中から、将来、私と同じ建築に就き、さらに地元桶川の発展を担ってくれる人が、一人でも出てくれたら、嬉しい限りです。



課題解決型学習「桶高クエスト」 ～画一性のない授業への取り組み～

埼玉県立桶川高等学校

井上剛志 学習指導部主任



本校では、「総合的な探究の時間」を使って「桶高クエスト」を実施しています。生徒たちが課題意識を持ち、主体的に課題解決に取り組むプロセスを大切にしたい取り組みです。中小企業家同友会様のお力添えをいただきながら、今年で2年目を迎えました。

コロナ渦での実施を余儀なくされ、当初予定していたプレゼンテーション学習やホールを使った発表会は中止としました。感染症対策の観点から、今年度はオンライン環境を積極的に活用しました。データを共有しながらスライドを作成したり、Zoomを使って経営者様に質問したりしながら、生徒たちは得た情報をまとめ、アウトプットしながら自分たちの成果物をブラッシュアップしていきました。

これまで学校では、授業を「受ける」ことが多かったと思います。しかし、「桶高クエスト」は受け身の姿勢では前に進みません。今も生徒たちの中には「授業は受けるもの」という感覚が強く残っているように感じますが、本事業をきっかけに「与えられた問題を解く力」だけではなく「何が問題なのかを考える力」が身に付くことを願っています。

～生徒からの感想を一部で紹介します～

- ・実際の会社での仕事の一端を覗けた気がした。
- ・企画を一から考えるのは、これまでほとんど経験なく大変だった。
- ・大人と同じ目線に立って考えることは難しかった。
- ・いろいろ調べることで、新しい知識を得ることができたことは自分の力になったと思う。
- ・メンバーの意見を取りまとめるのは大変だった。
- ・テストや部活をやりながらの作業は忙しかったが、形となりうれしかった。

桶川高校「総合的な探究の時間」クエスト計画書2020

※実践部分(全カリキュラム中、同友会企業参加の部分のみ記載)

概要	日程	内容
ク エ ス ト の 実 践	9月10日 13:35～15:25	①クエスト オリエンテーション 概要説明 映像紹介等 ②企業紹介・課題提示
	9月24日 13:35～15:25	③企業調査・理念・状況・課題の現状 等 主に調べ学習・スマホ・タブレットの活用 各自レポート ④KJ法 等 による プレインストーミング アイデア出し・自由意見の交換・発想の段階
	11月19日 13:35～15:25	⑤カテゴライズ作業→課題の項目化 アイデアの集約・分野分け・ネーミング ⑥班ごとのアイデアを集約・テーマ決め クラスとして取り組む課題解決の方向性を決定
	11月26日 13:35～15:25	⑦アイデアの具体化 成果物の制作・アイデアの見える化・発表内容の制作 ⑧同上
	12月23日 9:00～12:50	⑨発表準備 ⑩発表準備 ⑪クラス発表 ⑫評価・代表班決定・講評

2020年度 桶高クエスト参加企業

※順不同・敬称略

企業名	会員名	地区会
(株)潤製作所	小野 良一郎	東彩
小林税理士事務所	小林 聡一	西部
(株)ノワテック	水上 真紀	中部
金子商事(株)	金子 昭雄	中部
(株)ディクタス	齊藤 壽和	東彩
東京プレイズ(株)	松 康太郎	むさし野
バルデザイン リ・ホーム/晴建築工房(株)	中山 晴喜	中部
鈴木行政書士事務所	鈴木 将浩	中部
(株)こみん	岡部 千里	中部
(株)ピーアイビー	植竹 知子	さくら
(有)ベストプラン	山崎 一樹	中部
(有)山田建具	田中 幸治	中部
(株)plus A	吉行 晶	中部
(有)昇栄興業	伊藤 健	東彩
(株)U Tソリューションズ	吉川 明夫	中部
(有)木材工芸キクテ	菊池 孝一	中部
山本工機(株)	山本 成年	東彩

第23回女性経営者全国交流会 from 新潟

feature articles

あい、語り、共に生きる。～中小企業家としての誇りを胸に～

◆日時:2020年11月16日(月) ◆オンライン開催

昨年、11月16日に新潟同友会設営のもと、第23回女性経営者全国交流会(以下、女全交)が開催されました。新型コロナウイルス感染対策として当初予定されていた6月から11月に延期、さらにオンラインでの開催と形式も大幅に変更となる中、47同友会と中同協から713名が参加。(埼玉同友会からは31名が参加)。「あい、語り、共に生きる。」をメインテーマに5分科会と記念講演含む全体会の2部構成で学び合いました。

分科会では、従来よりも報告やグループ討論の時間が短いながらも密度の濃い交流が図られました。経営者としての責任を自らに問い、社員や取引先などの関わる人との関係を深めながら課題を解決し、地域に根ざした経営にまい

進する姿勢、その根底に経営理念を据えている点は、各分科会で共有された学びとなりました。

記念講演は尾畑酒造(株)専務取締役の尾畑留美子氏による「私たちの存在意義～佐渡が酒を醸し、酒が佐渡を語る」。佐渡の老舗酒蔵の娘として生まれた尾畑氏が後継者として覚悟を決め、東京からUターンするも葛藤の日々、行きつきたのは「自分を変えること」、そこから新たな可能性が広がり、佐渡の活性化のために人と人、佐渡と世界、世代をつなぐ酒づくりにつながっていく経緯が語られました。

埼玉同友会からは、第5分科会にて横山由紀子氏(浦和地区会)が報告しました。吉田雄亮座長による報告記事他、他分科会に参加した会員からの報告記事を掲載いたします。



【第5分科会】(埼玉同友会)

つなぎ繋がれ、気づいた私の使命

～住みなれた地域で支えあうベストパートナー～

報告者:横山由紀子氏(浦 福祉ネットワークさくら 代表取締役)



新潟女全交第5分科会は「地域と共に生きる中小企業」をテーマに(有)福祉ネットワークさくら 代表取締役 横山由紀子氏から報告をしてもらいました。高齢者・障害福祉サービス事業半径2kmのエリアで拡げる究極の地域密着型経営を行う横山社長。そこには創業者からの引き継いだ「営利法人へのこだわり」「社員への思い」「地域の大切さ」を元に経営理念にある「住み慣れた地域で支えあうベストパートナー」を実践する事例報告をしていただきました。同友会運動は「良い会社・良い経営者・良い経営環境」「自主・民主・連帯」「国民や地域と共に歩む中小企業」この三つを総合的に行う壮大な運動と定義されています。この地域と共に歩み、地域の中であてにし、あてにされる関係を強固に出来る企業は同友会内でも中々無いです。

しかし(有)福祉ネットワークさくらは「地域での存在意義」から新たな企業使命が生まれ、横山社長が経営姿勢を確立し更なる飛躍を確信させる報告でした。地域の課題を解決するのは地元の中小企業です。そこには生活者の視点に立った女性的な感性が必要です。(優しさ、愛情、凛として背筋を立てて生きていく決意など)そしてこのような企業が増える事で住みたくなる地域になる。企業作り、同友会作りを通じて、地域作りを推進する企業に成長して行こうと確認、決意をする分科会となりました。今回男性座長は私だけでしたが埼玉同友会が性別、会歴、事業規模など関係なく会員同士が対等な立場で学びあう風土作りが確立されてる事も座長報告で伝えました。設営にはファムの皆様、事務局、新潟同友会がご尽力頂きプレ報告も数回行い、本番当日は大きなトラブルが無く分科会設営を出来ましたことに感謝申し上げます。

(戸田・蔵地区会 吉田雄亮 記)



参加者に語りかける横山氏(左)と吉田氏(右)

横山さんの会社は利用者様の範囲を2.5km以内として、「何かあったときに救急車よりも早く着く」という地域密着のサービスを展開しています。利用者、職員、その家族など親子3代にわたって関係性を持っている方々もいらっしゃる地域で誠実に福祉に取り組む、地元で愛される企業です。

報告では、先代のお母様から会社を引き継がれるまでと、引き継がれた後から現在の会社のご様子まで、かなり赤裸々にお話くださいました。横山さんは、秘書などのお仕事から専業主婦を経てお母様の会社の手伝いをされ、そして誰もが弟さんが継ぐと思っていた会社を引き継がれました。2代目として指名された後には社員さんとの関係でご苦労され、会社がうまくいかないのは「出来の悪い社員」のせいという思いなど沢山の壁にぶつかりながらもあきらめない。横山さんは、先代からの叱咤激励や同友会での学びを吸収し、すぐにやってみる、を繰り返されて現在の会社の形を作られました。横山さんの柔軟さと底力、周りを巻き込んでいく力に私もこのようにありたいと心が震えました。

グループ討論では、地域の課題や解決方法などを話しました。コロナ禍ということもあり、急な変化への対応の話も多く出ましたが、全国各地の高齢化や過疎の話などもあり、全国交流会であればこそその討論になりました。全く別の地域とそこでごんばっている仲間のお話を聞くことで、自分の地域へのヒントと元気をもらうことができました。

横山さんの「やり続けること」「周りを、社員を巻き込んで一緒にやること」を実行し「支えあうベストパートナー」となり、「自分らしい人生を探求」「誰もが暮らしやすい社会」を実現していくことは言葉以上に難しいと感じています。それを苦労と思わずに進んでいける横山さんの姿はまぶしく、このような経営者を目指したいと希望と勇気をいただいた分科会でした。

(川越地区会 下村信子 記)

【第2分科会】(宮崎同友会)

あきらめずに続ける「ダイバーシティ経営」
～人間尊重の精神でともに育つ社風づくり～

報告者：税田倫子氏

〈株式会社グローバル・クリーン 専務取締役〉

株式会社グローバル・クリーンは、清掃をメインとしたビルメンテナンスや不動産仲介を営んでおり、役員2人正社員7人(女性5人)アルバイト・パート57人(女性36人 高齢者14人障がい者6人含む)の会社です。

報告では創業時より有給、残業、特別休暇を完全にやり続け、その赤字経営状況を社員に公開したことで、会社は赤字でも続けられるんだとの誤解を招きました。いよいよになって社員と相談をしたことで、コスト意識が芽生えたのですが社員が利益を追求し、清掃の品質を落としてしまったとのこと。業績が上がら募集をかけても人が集まらないなら、広告に投資するのではなく、集まる会社になるために投資しました。社員教育に売り上げの3%を使い、いろいろな資格取得による新



事業の模索は、「社員の成長なくして会社の成長はない」との考えからです。

税田さんがダイバーシティを考えたのは、世の中の流れや労働力補充のためではなく、次男の出産がきっかけでした。障がいを持って生まれるかもと、医師から言われましたが無事に出産。ハンデに働く生きがい奪われることのないよう、愛をもって雇用していこうと考えました

グループ討論では、税田さんの考える「ダイバーシティ経営」とは、多種多様な労働力を雇用することではなく、誰もが能力を発揮できる環境と、生きがいを持って働くことのできる社風を作ること、組織の継続ではなく人が生き続けられるよう、経営者は愛をもって事業を進めて行こうとまとまりました。

(むさし野地区会 亀山 章)

【第3分科会】(愛知同友会)

同友会らしい『永続企業』をめざして
～『佐野ブランド』を確立し、地域から必要とされる企業に～

報告者：佐野和子氏

〈株式会社佐野花火店 代表取締役〉



オフィスレディーになりたかった佐野氏。しかしその願いは叶いそうもない商売大好きな祖父と父。婿を取り佐野家を継ぐのだと説得され、もがきながらも社長を承継します。父からの脱却の意味も込めて自社の経営理念を一新します。それは「感謝と笑顔」を中心とした経営理念です。人間尊重をど真ん中に据え良い地域社会づくりをおこなってきましたが、右腕が退職という青天の霹靂。改めて事業づくりを考えたときに、花火販売以外にも様々なオリジナル商品開発をおこない経営強化を目指しました。

業績悪化+コロナ禍で理念変更を迷った時期もありましたが、実は社員も大好きだったと気づかされた「感謝と笑顔」という理念に再度価値を見出し、理念をより強く思えることができました。最後に佐野氏は会社経営を「1、生きるため」「2、働くため」「3、経営するため」「4、未来へ繋げるため」と分類し、持続可能な会社にする熱意がにじみ出ていました。

グループ討論で印象的だった意見等

ブランディングする時に改めて自社の強みややりたいことを見つめ直すきっかけになることや、10年ビジョンは経営陣だけでなく、成文化して社員全員と共有することが大事であるという意見ができました。

自身の感想、気づき

佐野花火店の10年ビジョンは社員が生き生き働くことができるような優しい線香花火のような輝きがありました。そして、主力の花火販売業は力強い2尺玉のような印象があり、それ以外にもLINEスタンプ作成などの新規開発チームを作ったりなど事業分野を拡大しており、「永続企業の基」の勉強となりました。

(大宮南地区会 申田哲也 記)

埼玉の元気を創る 中小企業家

森田税務会計事務所(川越地区会)

埼玉県ふじみ野市上福岡1-5-34 近藤ビル2F
TEL 049-269-4716
URL <https://morita-zei.tknf.com>



■開業のきっかけと同友会への入会時期

大原簿記勤務の後、開業前は都内会計事務所にて勤務していた森田氏ですが、お客様の相談に耳を傾けているうちに、「より親身になってお客様のご相談に共感できるようになる為には、お客様と同じ土俵に立つ必要がある」との思いが強くなり、独立を志しました。

実際に会計事務所を起業してお客様や従業員に対する責任を自ら背負ってみると、お客様からのご相談に対して、より共感できるようになり、寄り添えることが出来ると実感されたそうです。

起業した当時は賃貸アパートのほんの一部が事務所でしたが、やはりお客様にも気を遣います。マイホーム購入の際、自宅兼事務所も考えられましたが、人を雇う事をキッカケに事務所を借りられました。

開業当時は同業の先輩の影響もあり、「事業拡大」を最大の経営方針にされていました。

自らを凡人と評する森田氏は「人の倍の速さ・能力で仕事を進められないのであれば、人の倍の時間、働くよう努力すればいい」と考えられていました。実際に朝7時位には出社し、業務を社員の誰よりも早く始められます。また、同友会の例会などに参加した後も会社に戻り、業務をされています。



経営指針セミナー修了式にて、高橋正哲経営委員長(当時)と

す。生死をさまよう大怪我をした一時期を除いて、この習慣は約10年間継続しているそうです。

この時期に同友会に入会し、商工会やJCといった他団体にも積極的に参加していましたが、仕事に繋がる人脈作りが目的だったそうです。同友会での経営指針セミナーに参加して経営指針を作成しましたが、その内容は、やはり業務拡大をメインとしたものだったそうです。

■転機

同友会で川越地区会の会長をしていた2015年に意識不明で手術となりました。頭部に大怪我を負い、暫くは無理が出来なくなりました。このことにより参加していた団体でも役職を辞退したり、会への参加も回数を減らすこととなりました。しかしその分、本業に集中できる時間も増えていき、時間と気持ちにゆとり(余裕)が出来たことで、お客様一人ひとりと業務以外の色々な話が出来るようになっていきました。そうすると、お客様との距離が更に縮まり、今までになかったいろいろなご相談を受ける様になったそうです。その結果、今までよりも個々のお客様に対して、きめ細やかな要望に沿った仕事が出来る様になりました。

この事は経営理念にも反映されて、当初の経営拡大から、個々のお客様へのより丁寧な対応を心掛ける様に経営理念も更新・変更していき、併せて経営指針の修正も続けられています。



■経営理念や今後について

経営理念は難しいことを目標とせず、日々誰でも出来る事を目標としています。この経営理念を含む経営指針は毎朝の清掃後の朝礼時に社員・パートさんと読み合わせをすることで、事務所全体で共有できるようにされています。

お客様に対して「まず自らの襟を正し、利他の精神で信頼して頂く。次に長期にわたり、お客様の為となる提案をしていく。時にはお客様に厳しい意見を言います。事業者は、しっかりと納税して頂く事によって、残りの利益をプールできます。その結果、今回の様なコロナによる業績悪化を乗り越えるための資金を貯める事のできたお客様もいらっしゃいます。この様に、長期にわたりお客様と共存共栄できる仕事を今後も生涯をかけて努力し続けていきたい」と森田氏は考えています。

(川越地区会 小田 明 記)

各地区会で開催された例会をご紹介します。

【埼玉地区会・大宮中央地区会11月合同例会】

ここがあなたのアナザースカイ
～昨日とは違う私たちがここにいます!～

パネリスト:吉成直人氏(株)プラスワンライフ 代表取締役
高橋浩一氏(株)高橋通信 代表取締役
水野浩美氏(トライアルプランニング 代表)
コーディネーター:和泉紀子氏(P・R・Oコンサルタンツ労務管理事務所)



11月例会は、年間スローガン「経営環境の変化に対応できる企業」を掲げる大宮中央地区会と「ともに生き残る」を掲げる埼玉地区会との合同で「ここがあなたのアナザースカイ～昨日とは違う私たちがここにいます!～」というテーマで三氏パネリストによるパネルディスカッション形式で学び合いました。

当日はWEBでは参加できない方や職業上外出を自粛なくてはならない方への配慮から、リアルとZOOMの混合での開催でした。

報告では業務内容と従業員の安全対応の為に大きく影響を受けた会社、事前に情報を得て対策が出来ていたので一時期は影響は出たが社会のニーズに対応が出来て業績を伸ばせた会社、業務に影響が直撃し「売り上げ=0」となった会社等、想定外の事態での話を拝聴しました。しかし、三氏の話には、「現状の把握・状況の分析・情報の収集」から次への行動へ取り組む志がありました。

グループ討論では「自社の5年後・10年後の会社の在り方を話し合うことの大切さ」「日頃の自社の正確な分析、情報を収集し改善に取り組む習慣」の重要性を話しました。「先を見据えた経営計画」が有る事は困難に遭遇しても「自分が進む方向」を照らしてくれることを再認識出来た時間となりました。(大宮中央地区会 鈴木光義 記)

【大宮南地区会11月例会】

ONE TEAMの作り方

～事業規模拡大のヒントは、障害者雇用にあった!～

報告者:串田哲也氏(社会福祉法人 独歩 理事)

今回は障害者雇用と会社の組織作りを報告して頂きました。串田氏はお父様の言葉を受け社会福祉法人を設立し施

さいたま市で初!
身体障害者専用のグループホーム



設長として働き始めました。他人の世話をする中で感動や衝撃を覚えました。

串田氏の会社はグループホームの経営や障害者の職業訓練等を行っています。設立当初は売上の増大を特に考えていましたが社員の離職率は高かったそうです。そこで・事業拡大・他の会社との差別化・顧客の自己実現・管理者の増加を行いました。また①社員に社内のイベントを考えさせる、②障害者社員への教育を他の社員に考えさせる等の内製化も行いました。その後会社は「チーム」で事業と向き合い売上は向上し事業規模や社員も増加しました。串田氏は現在「社員を守りたい。障害者雇用こそが最大の地域貢献である」と考えています。グループ討論では組織作りをテーマに「社長が将来のビジョンを説明する」「社員と積極的にコミュニケーションを取る」等の意見が出されました。

例会のまとめで「今日の報告は来年の障全交への良いスタートになったと思います」との言葉もありました。

(粟田聡 記)

【むさし野地区会11月例会】

『大成功を手放しても創りたかったもの』

～胡蝶蘭ビジネスから社会を変える～

報告者:那部智史氏

(NPO法人AlonAlon 理事長、A&A株 代表取締役)



NPO法人AlonAlon 代表理事
A&A株式会社 代表取締役

那部 智史氏

今年度より発足した障害者雇用推進委員会の初めての担当例会でした。報告者に、NPO法人AlonAlon理事長の那部智史氏をお迎えし、事業を立ち上げた経緯や今後の展開についてお話をいただきました。「ビジネスの力で社会課題を解決する」ことを柱に、福祉事業の報酬制度の問題点などを冷静に捉えた上で、事業を肥大化させるのではなく多層化させることで収益を確保する仕組みに行き着いた話は、障害者雇用に関係なく経営者としても示唆に富む内容だったと思います。グループ討論では「自社の事業で解決できる社会課題は何ですか?」をテーマに参加者それぞれの熱がこもった

討論となりました。また、今回の例会ではオンライン例会の開催方法を模索する趣旨から、報告をYouTubeでの事前配信とし、当日はオンラインでグループ討論を行い、前後に交流タイム、オンライン懇親会などを実施。奇しくも第3波到来という時期と重なり、今後の例会のあり方を考えるきっかけにもなりました。
(関根健一 記)

【中部・北部・さくら地区会11月合同例会】

**がむしゃらウーマンの経営実践記録
～この会社って誰の会社?～**

報告者:川上かおり氏〈有山本美創 代表取締役〉



コロナ禍におけるオンラインとリアルのハイブリッドでの三地区合同の例会となり、参加人数は73名、うちゲスト11名、オブザーバー三名の大人数での開催となりました。オンラインの参加しやすい体制に加え、今回あえてリアル会場も設置したのは、オンラインでは関係が希薄になってしまい寂しいと感じ、足が遠のいているメンバーにも積極的に参加してもらうためでした。

報告では、2代目社長の川上氏が会社を引き継いでから社員との葛藤を経験し、同友会に入って学び少しずつ社員の反応が変わってきていることが感じられました。特に経営指針セミナーを受けてから社員を巻き込んで会社全体が川上かおり色に変わっていていることがよくわかり、指針セミナーを受けた翌年も自社内で指針を出すのは羨ましく、社員さんが一致団結している様子も見えました。筆者もなるべく早いうちにセミナーを受けてみたいと思った例会でした。

(中部地区会 吉行 晶 記)

【東彩地区会11月例会】

**ほめて伸ばす
どんな個性も才能に変える
さいとうようこ式メソッド**

報告者:齋藤洋子氏〈家カフェスキル 青山・八潮 代表〉

東彩地区会の草加八潮仲間づくりPROJECT 11月例会を開催させていただきました。

仲間づくりPROJECTですので、八潮市でご活躍中の齋藤洋子さんに「ほめて伸ばす どんな個性も才能に変える さいとうようこ 式メソッド」と題し報告をお願い致しました。



絵画教室を始めるきっかけや、数多くの子供たちと正面から向き合い、独自の営業スタイルで教室を次々とオープンさせ、多くの障壁を乗り越える中で習得した、発想1つで変わる自己実現とスキルアップ法等を、オリジナルの検定構築や教本出版までの取り組みなどを交えて、さらにこれからの取り組みも合わせて実践報告をいただきました。グループ討論では「ブランディングについて考える」をテーマに、これから益々差別化が要求される世の中になることを前提に、様々な角度や視点から討論していただきました。

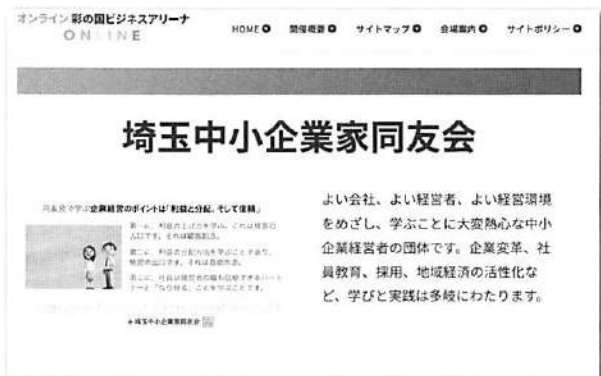
それぞれの立場や状況で、気づきや学びは違うと思いますが、新たなワクワクやドキドキが生まれ、実践していただけるのではないかと思います。

例会運営は、若干、進行がおしてしまいましたが、ハイブリッド開催にも慣れてきましたので、さらに工夫を検討し、より良い例会づくりを進め、会員の利益につながるよう、積極的かつ連携を取りあい、ますます充実させていければと思います。
(小野良一郎 記)

**オンライン『彩の国ビジネスアリーナ』に
埼玉同友会が参加!!**

多くの中小企業のビジネスマッチングの場として、例年、多くの来場者でにぎわうビジネスアリーナが、今年度は、オンラインにて開催されました。
(1/8～2/8)

同友会もオンラインを通じて、会のよさをPR。デジタル化の波がさらに進んだことを実感できるビジネスアリーナとなりました。



埼玉中小企業家同友会 2020年度第4回Web理事会議事録

〈2020年度スローガン〉「中小企業の活力で、埼玉の未来を切り開こう」

～地域に貢献する強靱な経営体質の企業づくりを～

◆日時:2020年12月17日(木)18:30～20:30

◆議事録署名者:植竹副代表理事

◆会場:Web会議

◆議事録作成者:清水事務局長

◆司会・議長:植竹副代表理事

・小松代表理事挨拶

コロナ感染が拡大しています。こういう時こそピンチはチャンスと捉える思考と戦略が必要となります。新しい取り組み・工夫で乗り切りましょう。今年度のはじめに太田代表が同友会の「活動を止めない」と宣言しましたが埼玉県の経済団体の中ではしっかり活動していることは評価されてきています。危機を乗り越えていく中でDX化(デジタルトランスフォーメーション)を中小企業も図るべきであると認識され始めています。中小企業も少しでもアナログがデジタルになれば生産性が上がると思っています。最後に中同協の宣言に「激動をよき友に、ポストコロナに向けて変革を」とありますが理事会では皆の英知を絞ってよい方向に向かうようにしていきましょう。本日もよろしくお願いたします。

1. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

報告事項

1. 全研実行委員会報告(報告者:吉田副代表理事)

2020年度全研の収支報告として収入1,171,000円、支出1,100,004円、余剰金70,996円が報告された。

2. 埼玉県への政策要望・提言実施報告(報告者:新井政策委員長)

2020年11月9日(月)に埼玉県に対して産業労働部を通じて2021年政策の要望・提言を実施した。当日は上野東部地区区長が東部地区会の要望も踏まえて参加し、同友会8名、埼玉県担当者13名で意見の交換を行った。今年はコロナ禍に関連する要望・提言が多くなった。

3. 地区区長会議報告(報告者:折原副代表理事)

各地区前期総括及び後期の活動について確認。その後、例会参加者のコロナ感染について報告があった。

4. 委員会会議報告(報告者:吉田副代表理事)

次年度全研(各委員会ともに参加を表明)、前期総括、オープン学習会について報告があった。

5. 役員選考委員会発足について(報告者:米山副代表理事)

第1回役員選考委員会の進捗状況について報告があった。次回は2月に実施予定。

6. 議案作成プロジェクト発足について(報告者:太田代表理事)

第1回議案書作成会議で次年度議案の総括の検討に入ったとの報告があった。正副会議、理事会共連携して2021年度議案を作成していく。

7. 彩の国ビジネスアリーナ出展について(報告:田ノ上主任)

2020年度はオンライン展示会で埼玉同友会も参加することとなった。(開催時期 1/8～2/8)

8. 共同求人委員会報告(報告者:山本委員長)

- ①合説での参加者を増やすため、外部コンサルに依頼する事となった。予算は委員会が負担。
- ②共同求人委員会の議事録を幹事会共通資料に今後、添付したい旨の要請があった。(承認)
- ③埼玉県より「さんフェア埼玉(全国産業教育フェア)2021」の名義後援の依頼があった。(承認)

9. 新型コロナウイルス感染状況(報告者:清水)

「新型コロナウイルス感染症拡大に関する埼玉中小企業家同友会の当面の対応についてのお願い」

(第11報)、2020年度内に企画する会合はオンラインでの開催が望ましいとの報告があった。

10. 同友会に入会して「よかった」集について(報告者:植竹副代表理事)

組織強化支援室の企画で制作に入った同友会に入会して「よかった」集が12月21日に完成した。今後増強のツールとして有効に活用していく。寄稿した方には80部送付する。事務局に予備があるので必要な方は連絡してほしい。

11. その他(広報委員会)(報告者:植竹副代表理事)

11月11日に今年度、リニューアルを図るホームページの業者のコンペが開催され、東部地区会の㈱スイッチに決定した。

協議事項

1. 第48回定時総会について(報告者:植竹副代表理事)

- ・総会概要、記念講演候補者
 - (1)2021年度定時総会の開催日予定:4月17日(土)となった。
 - (2)企画内容:第1、2部構成(第3部懇親会はなし)、なお開催方法については今後の状況から判断する。オンラインの活用を図る予定
 - (3)記念講演報告者候補選出:大野知事、中野氏(奈良同友会)、加藤氏(愛知地同友会)の3氏が候補となった。アンケートを実施し、候補者優先交渉順位は大野知事、加藤氏、中野氏となった。

・2020年度活動方針総括(案)

議案作成会議で活動総括及び方針を検討している。現在は総括について討議しているが今年のコロナ禍にあっても各地区会・委員会がこういう同友会らしい取り組みをしたというような前向きな総括としたい。

2. 第21回障害者問題全国交流会in埼玉の実行委員会組織・開催方法・

記念講演候補者について

(報告者:横山実行委員長)

・組織、開催方法、記念講演候補者

- (1)実行委員会組織に仲間づくりチームを加え、リーダーに吉田副代表理事が就いた。なお、実行委員を募ったが今後は各チームから依頼が行くようになる。
- (2)開催方法については全てオンラインで増やす事ができるのではないかな。
- (3)記念講演の候補者6名より選出したい。アンケート機能を実施し、候補者優先交渉順位は川野やオコロ会長、坂本法政大学教授、杉本ノートルダム清心女子大学教授の順番となった。

3. 2020年度補正予算について(報告者:小林副代表理事)

10月度理事会で提案した埼玉同友会の補正予算だが検討の結果、総額および収入は変えずに支出の県行事活動費・全国会議参加費・印刷代を減額してその総計130万を支出の予備費に加えた。これは今年の状況からコロナ感染症関連対応の出費が多いこと今後、事務局等でコロナ感染症の疑いが出た場合等のために予算を組みかえた。(承認)

4. 永久劣後ローンについて(報告者:小林副代表理事)

永久劣後ローンについては内容が理解しづらく、今までも説明を重ねてきたが分かりやすい福岡同友会の新資料が今回入手したので確認していただきたい。また日本政策金融公庫の申込が簡略された資本性劣後ローンの案内が来たので今後も新しい金融施策の動きがあれば連絡する。次回理事会にて埼玉同友会として永久劣後ローン法案成立に向けて署名活動をするか否かを決めていく。

5. 埼玉同友会長期ビジョンについて(検討分科会)(報告者:小松代表理事)

今後の埼玉同友会の存在意義等をビジョンの作成を通して討議していきたい。単年度ビジョンを作るにあたっては長期ビジョンに根差したものでなくてはならず、今後の同友会の在り方等も検討するべきである。正副会議では骨子として「企業づくり」、「同友会づくり」、「地域づくり」を掲げた。会議日程等は今後つめていく。

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (12/1~)



清野映美
結
川口地区会
リラクゼーションサロン、
バーチャルショッピング、
ラインオフィシャル作成



北澤裕美子
(一社)グリーンノート
さくら地区会
障害者の就労支援、不登校・
ひきこもり支援、子育て支
援、カウンセリング等相談



中野日幸一
(株)ステンレスアート
大宮東地区会
各種ディスプレイ作品
(金属・アクリル)制作

同友会日誌 12月1日~28日

- 1日(火) 川口幹事会、大宮東幹事会、川越幹事会
- 2日(水) 2021年度役員選考委員会、埼玉葛幹事会
中部幹事会、むさし野幹事会
浦和幹事会、企業問題解決談義(浦和地区会)
- 3日(木) 戸田・蕨幹事会、東部幹事会、北部幹事会
- 4日(金) 正副代表理事会議、青年部次期部長選考会
- 7日(月) 「人を生かす経営」学習会【第6回】、東彩幹事会、
さくら幹事会、彩北幹事会
- 8日(火) 経営指針づくりセミナー【第10講】戦略編③
2021年度議案書検討プロジェクト会議
共同求人委員会、障害者雇用推進委員
西部幹事会、大宮南幹事会
- 10日(木) 障害者雇用推進委員会【特別支援学校見学・説明会】
経営労働委員会
- 11日(金) 大宮南例会、仕事づくり委員会、大宮中央幹事会
- 12日(土) 西部例会
- 14日(月) ファム幹事会、広報委員会
- 15日(火) 川口例会
- 16日(水) 東部例会、むさし野例会、浦和例会
- 17日(木) 正副代表理事会議、理事会
- 18日(金) 大宮中央例会、川越例会
- 19日(土) 中部例会、北部例会
- 21日(月) 政策委員会、さくら例会、東彩例会、彩北例会
埼玉葛例会
- 22日(火) 経営指針づくりセミナー【第11講】戦略編④
社員教育委員会、第50回新入会員オリエンテーション
2021年度第2回議案書検討プロジェクト会議
- 23日(水) 青年部幹事会・例会
- 28日(月) むさし野正副連絡会

会員information

《住所変更》

- 大宮東地区会 (株)ホスピタリティアルファ 野原健志会員
〒331-0047 埼玉県さいたま市西区指扇 511-51
- 浦和地区会 (特非) さいたまユースサポートネット
青砥祥子会員
〒337-0052 埼玉県さいたま市見沼区堀崎町 12-39

《社名変更》

- 東部地区会 (株)忠保 大越保広会員
(株)大越忠製作所へ
- むさし野地区会 (有)一進堂 山崎幸治会員
(株)一進堂へ
- 川越地区会 (有)共和エレクト 永島 明会員
(株)共和エレクトへ

《役員変更》

- 戸田・蕨地区会 小山企業(株) 小山 忠会員
取締役顧問へ

◆ 訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 埼玉葛地区会 金子守会員がご逝去されました。
- さくら地区会 野崎鉄也会員のご尊父様のご逝去されました。
- 西部地区会 小池優太会員のご尊父様のご逝去されました。
- 浦和地区会 高橋徹会員のご母様のご逝去されました。

会員数

2021年1月10日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	53	大 宮 南	82	北 部	32
戸 田・蕨	50	西 部	41	さ くら	87
浦 和	81	むさし野	111	川 越	91
大 宮 東	41	東 部	128	東 彩	55
大宮中央	33	中 部	49	彩 北	16
		埼 葛	50	計	1000

編集後記

最近、電気圧力鍋を購入しました。低温調理も出来るので、豚のレバーを65℃で30分ほど加熱します。加熱後にゴマ油、塩、ニンニクを適量かければ出来上がり。酒の肴には最高です。また、生鮭を醤油・味噌・酒に3日程、冷蔵庫で漬け込みます。漬け込み後、鮭を液から取り出して乾燥させます。ある程度水分が無くなったら、100℃で15分間、クルミのチップで燻製すれば自家製鮭燻製が出来ます。外食の機会が少なくなり、家飲みの回数が増えている方は、ツマミの自作にチャレンジしては如何でしょうか？

(川越地区会 小田明 記)

「技術屋の親分」から「経営者」へ ～時代の変化を自慢の社員と乗り切る～



松 康太郎

まつ こうたろう

東京プレイズ㈱
むさし野地区会
埼玉県志木市上宗岡4-12-34
TEL:048-473-5373
<https://www.tokyobraze.co.jp>



東京プレイズ㈱は、松氏のお父様が1970年創業し、当初はろう付材料販売を中心にしていましたが、その後、ろう付受託加工や、ろう付加工設備製造販売など幅広く展開し、ろう付全般のトータル企業として今年2月に創業50周年を迎えました。

「ろう付」とは、学生時代に図画工作で体験した「はんだ付」と同様に溶接材を溶かして溶接する金属加工の接合技術の一つで、眼鏡のパーツ接合や楽器のフルート、車のラジエーターなどからロケットの部品まで多岐にわたって使われているそうです。

■創業者の背中を追いかけて

大学、大学院では金属加工を学び、卒業後アメリカへ留学。帰国した後、父親が経営する東京プレイズに入社した松氏は、ろう付職人として、会社を設立して引っ張ってきた父親からの「とにかく手に職をつける」の言葉を実直に受け止め、ろう付の技術を徹底的に突き詰め、技術屋としての腕を磨きながら、学会での発表などに力を入れてきました。

■思ってたのと違う…

2010年、40歳になった時、父親から会社を継ぐように言われ、社長に就任しますが、技術を磨くことこそが会社への貢献と信じて技術屋として務めてきた松氏は、当時を振り返り「当初は肩書だけが社長になり、仕事の内容は全く変わりませんでした。なので、しばらくは経営とは何か全く知らず、地に足がついていないのに、先代の経営の悪いところだけは目



経営理念の社内研修

について、自分で改革をしてやろうと一人意気込んでいました。」と語ります。

しかし、その意気込みは空回りし、不満を抱いた社員が辞めていくという悪循環に陥っていきます。

■メンターとの出会いと経営者としての覚悟

そんな壁にぶち当たりながら、どうしたらいいのか悶々としながら受講した無料セミナーで、松氏は人生のメンターとなる講師と出会います。

メンターとのやり取りの中で、社員が新社長に求めているのは「技術屋の親分」ではないことに気づき、自らの強みを活かして「経営者」として勝負することを決意します。

松氏は、社員全員から自分のダメなところを指摘してもらい、辛辣な意見を全て聴き入れると同時に、自分の強みを浮き彫りにすることから始めました。

■同友会との出会い

2017年に他県の経営者仲間との勧めで同友会に入会します。例会に参加した時に経営指針セミナーの話聞き、すぐに翌年のセミナーを受講します。

「今まで我流で経営指針らしきものを作っていましたが、これまで出来ていたこと、出来ていないこと、知っていたこと、知らなかったことが良く分かり、納得できる指針を作り上げ社内で発表することが出来ました。」という松氏。受講後もセミナーでの学びを反芻し、社員を巻き込んで実践を続けています。



成人を迎えた社員にお酒をプレゼント

■熱い思いと人を虜にする笑顔

自社の自慢は?と問うとすぐに「社員です。」と答えた松氏。その回答は紛れもない本心なんだと感じました。さらに自らについては「未熟な経営者」と評価しながらも、将来に向けて「とにかく良い会社になりたいです。働いている社員が生き生きとしている会社、世の中に必要とされ続ける会社、世の中が、時代が変わっても事業を継続できる会社になりたいです。」と熱く語ってくれました。

内に熱い思いを秘めながら、笑顔で人を虜にしてしまう松氏が、同友会の学びを得ながら、どんな会社を創っていくのか?ワクワクした気持ちで取材を終えました。(むさし野地区会 関根健一 記)

埼玉同友会 広報委員

- | | | | | | |
|----------------------|--------------------|-------------|--------------|-----------|-----------|
| ● 委員長 ●
東 部 鈴木一朗 | ● 委員 ●
川 口 坂本武蔵 | 浦 和 大森靖之 | 西 部 南 崇一 | 埼 葛 松本賢二 | ● 制作担当 ● |
| ● 副委員長 ●
川 越 小田 明 | 戸 田・藤 石井孝徳 | 大 宮 東 柴田大智 | む さ し 野 関根健一 | 北 部 東 禎 章 | 杉 込 博久 |
| 中 部 中山晴喜 | 浦 和 酒井 啓 | 大 宮 中央 鈴木光義 | 東 部 宇野碧留 | 荻 原 武 | ● 印刷・製本 ● |
| 東 彩 齊藤壽和 | 中 部 小林吉文 | 大 宮 南 加藤早苗 | 藤 元 天 美 | さ くら 水野純子 | 加藤早苗 |
| | 三 友 哲 哉 | 西 部 加藤剛毅 | 鳥 袋 隆 仁 | 彩 北 江田雅之 | ● 事務局 ● |
| | | | 中 部 矢澤敦臣 | 佐 藤 大 輔 | 古川佳子 |